

コミュニティ・スクールについて その2

コミュニティ・スクール協議会の役割

前回の学校だよりでお伝えしたとおり、コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会（本校ではコミュニティ・スクール協議会）を設置した学校のことを言います。コミュニティ・スクール協議会は法律に基づき、一定の権限と責任を持ち、保護者・地域の声を学校運営に生かし、「地域とともにある学校」づくりの核となる組織として位置づけられています。コミュニティスクール協議会には主に以下の役割があります。

- (1) 学校運営の基本的な方針を承認する。
- (2) 学校運営等について校長または任命権者（教育委員会）に意見を述べることができる。
- (3) 学校運営の状況に係る自己評価結果等に対して、評価を行う。
- (4) 学校・家庭・地域の連携・協働を推進する。
- (5) コミュニティ・スクールの運営について、地域住民等の理解、協力、参画等が促進されるよう情報を積極的に提供する。

すでにコミュニティ・スクールとなった学校では、コミュニティ・スクール協議会が設置され、年度初めには、各学校運営の基本方針が承認され、活動が始まっています。協議会の主なメンバーは、町内会長・主任児童委員・PTA会長・地域コーディネーター・学識経験者等です。

既存団体との関わり方

本校は、開校以来多くの地域・保護者の皆様の協力を得て教育活動を行ってきました（PTA・ここにパトロール・図書ボランティア・和っ子クラブ・生涯学習推進委員・交通安全連絡協議会など）。また、エリアファミリー構想に基づく第八中学校や校区の保育所・幼稚園・学童との連携も行われてきました。本校がコミュニティ・スクールになることで、新たに仕組みや負担が増えることは考えていません。協議内容を適切に伝達し、学校と各団体が連携・協働した活動を行っていただけるようにしていきます。また、コミュニティ・スクール協議会の委員に代表の方も一部加わっていただきます。

コミュニティ・スクールとしての活動は、学校運営の基本方針の承認を経て、教職員・地域住民・保護者で目標・ビジョンを共有し、学校課題について議論することで活性化していくということなのですが、どうしても難しい説明になってしまいますので、コミュニティ・スクールがどんな学校なのか？イメージできない方も多いと思います。私なりの解釈でもっとかみ砕いて言うとしたら、「皆さんの声が反映される学校」「皆さんが教育活動に参画できる学校」「地域ぐるみで子どもたちを育てる学校」を作っていく。そのために、昔あったような地域と学校とのつながりを作り、共有した目標に向かって、対等な立場の下で連携・協働する（地域とともにある学校）取組を通して、学校も地域も活性化していくことをめざしていると考えています。